

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	21番 小倉靖幸 予定日時 6月7日(木) 10:00~11:00	夢と誇りの持てる まちづくりの集大成について	1 文化のまちづくり市税1%支援事業の成果とレガシーについて	1 鈴木市政の看板政策である文化のまちづくり市税1%支援事業は、本市のまちづくりにどのような成果を生み出し、市民にどのような影響をもたらしていると考えているのか伺います。 2 現時点において、今後、どのように進化させていくのか。また、事業終了もありうるのか伺います。
			2 目標人口9万人について	1 君津市総合計画も終盤に入り、第2次まちづくり実施計画は、今年度で計画期間の満了を迎えます。人口は、約8万5千人と減少の勢いが増してしまっているが、目標人口達成に向けて、計画の進捗をどのように評価しているのか伺います。 2 このほど国の機関が公表した地域別将来推計人口によると、2045年に本市の人口は、約5万8千人とされています。全国的な人口減少は理解するものの、木更津市などは、若干増えるとの予測もある中、本市としてはこの問題にどう向き合うのか伺います。 3 人口問題の克服は、様々な施策が関連します。都市計画や土地利用を長期的な視点から検討し、まず第一歩を踏み出すことにより、10年後にやっと花が開くと考えます。人口や産業の受け皿づくりに取り組むべきと考えますが、見解を伺います。
			3 次の市長に引き継ぐべき政策について	3期12年の市政運営を総括して、これだけは、次の市長に引き継がなければならないと考える政策があれば伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		広域連携について	1 女子ソフトボールニュージーランド代表チームの事前キャンプ受け入れについて	<p>1 7月に市原市と連携して取り組むニュージーランド代表チームの事前キャンプについて、日程や内容を伺います。</p> <p>2 県内で行われる世界選手権大会に向けて、両市で応援団を結成するなど、オリンピック・パラリンピックを意識したおもてなしや、市民の機運を高めるときだと考えますが見解を伺います。</p> <p>3 中学生派遣による交流などの歴史、実績を考慮すると、ホストタウンに追加登録することで、今後の可能性が大いに広がります。本市は、その要件やポテンシャルを持っていると考えますが、見解を伺います。</p>
			2 オリンピック・パラリンピックと文化・観光振興について	<p>オリンピック・パラリンピックに向けて、きみつ少年少女合唱団の活躍を支援するなど、文化面の発信を強化するとともに、世界に一番近いSATOYAMAプロジェクトなど、近隣3市や市原市などとスケールの大きな観光振興策に取り組み、インバウンドをはじめ、自然や歴史を生かした君津の観光振興を図るべきと考えますが、見解を伺います。</p>
			3 今後の自治体間連携のあり方について	<p>昨今、4市合併の話題が出ているが、それよりも先に進めることは、自治体間の連携強化であると考えます。近隣3市も含め、千葉・市原方面、圏央道、南房総方面など、積極的な情報共有と連携による施策展開が望まれています。その上で将来の市のカタチを考えた方が現実的であると考えますが、見解を伺います。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		人口減少に挑戦する幼児教育の戦略について	1 保育園整備の進め方について	君津市保育環境整備に関する基本方針に基づき、民間活力などによる保育園整備が進められておりますが、宮下保育園の民営化以外には、多くが具体化に至っておりません。方針に掲げられた施設について個別課題が多いと聞きますが、どのような課題があり、それに対してどのように対応していくのか伺います。
			2 保育園整備の基本方針の修正について	1 基本方針は、行政改革と多様な保育ニーズへの対応のバランスをとったものでありますが、具体的な事業は、個別保育園の整備計画をその都度策定しているものであり、その結果、場当たりの印象で、一貫性に欠けているような印象を受けます。基本方針を基本計画として練り直し、総合計画や公共施設等総合管理計画と連動させ、実効性を担保するなど、抜本的な見直しが必要だと考えますが、見解を伺います。 2 基本方針には、人口減少や保育ニーズの多様化への対応が示されていますが、もっと人口減少の克服に向けて、保育環境を充実させることに注力すべきと考えます。目指す視点が小さすぎる印象があるので、人口問題に向けて、積極的な姿勢を示す必要があると考えますが、見解を伺います。
		周南小中一貫教育について	1 併設型一貫教育の進ちょく状況と今後の展開について	併設型一貫校として位置づけられた周南小中学校について、具体的な連携内容と今後の展開をどのように考えるか、見解を伺います。
			2 地域関係団体と一貫教育との関係について	各学校の運営は、地域の様々な団体との関係、連携が欠かせないと考えます。周南小中一貫教育においては、学校間の連携の中で、PTAをはじめ各種団体等とどのように関わりを構築していくのか伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 タブレットの導入について	文部科学省では、ICT（情報通信技術）活用の5か年計画を進めています。市内初の小中一貫校である周南小中学校で、タブレット等を活用した教育は有効であると考えますが、今後の導入計画などのご見解を伺います。
2	5番 佐藤葉子 予定日時 6月7日（木） 11：15～12：15	子育て支援について	1 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援について	時代とともに家庭や地域のあり方が変化する中で、妊娠から出産・子育て期まで切れ目なくワンストップで総合的に親を支える仕組みが極めて重要です。「子育て世代包括支援センター」（日本版ネウボラ）の全国展開が進んでいますが、 1 本市における「子育て世代包括支援センター」の設置について伺います。 2 本市の産前産後サポート・育児期の切れ目のない一人に寄り添う支援体制について伺います。 3 児童福祉法等改正後のさらなる安心して子育てできる体制について伺います。
			2 子育て支援の情報発信強化について	本市で行われている、子育てに関する幅広い支援事業・相談事業などを気軽に利用いただけるよう情報発信の強化が必要と考えます。急速に普及するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、総務省の平成29年度情報通信白書によると、2016年には利用率が全体でも70%を超えるなど、世代問わず多くの方が利用しています。本市においても、SNSを活用した、きめ細かな子育て情報の提供が必要と考えますが、ご所見を伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 マイナポータルの子育てワンストップサービス導入について	マイナポータル「子育てワンストップサービス」は、マイナンバーカードを利用して、子育てに関する行政サービスを市町村の窓口に出向くことなく、オンラインで手続きできる等のサービスであり、平成29年11月より本格運用が開始されています。マイナポータル「子育てワンストップサービス」の利便性と本市の導入について伺います。
		障がい者福祉について	1 「障害者差別解消法」に対する取り組みについて	「障害者差別解消法」は、すべての人が障がいのあるなしによって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会を作ることです。昨年、内閣府が実施した「障害者に関する世論調査」によると障害者差別解消法を知らない人が77.2%と周知度が低い状況です。施行後2年経過しましたが、本市の取り組み状況について伺います。
	2 各分野における合理的配慮の取り組みと対応について		本市における各分野の取り組みについて行政機関、教育分野、福祉分野、公共交通分野、医療福祉分野、災害時などにおける合理的配慮と、民間分野における合理的配慮の取り組みと指導助言について、ハード面・ソフト面での対応を伺います。	
	3 相談支援体制の充実と自立支援について		本市の障がいのある人（手帳所持者）の人数は、近年、4千人前後で推移し、その割合は増加傾向です。先天的または後天的な要因による身体障害・知的障害・精神障害など、個に応じた相談支援体制の充実と自立した生活支援が不可欠です。本市の現状課題分析と、これを踏まえ、第2次君津市障害者基本計画期間でどのように前進させるのか、具体的に伺います。	

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			4 「ヘルプカード」と「心のバリアフリー」について	赤地に白十字とハートマークの「ヘルプマーク」は、難病や内部障害を持つ人、人工関節を装着している人、初期の妊婦など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人が、そのことを周囲に示すためのものですが、市民の認知度は低いと考えます。内部障害等の方は、優先座席の使用を非難されることも少なくないとお聞きします。本市の「ヘルプカード」の普及と理解への取り組みについて伺います。
			5 成年後見制度の周知・啓発について	知的障害、精神障害などの理由で、判断能力が不十分な方の権利を守り、預貯金や不動産などの財産管理や施設入所に関する契約などを行う成年後見制度は、障がい者等を守る重要な手段ですが、十分に利用されておらず、差し迫ってからの申し立てが目立つとお聞きします。必要とする方に十分に利用されるような、周知及び啓発について伺います。
3	6番 野上慎治 予定日時 6月7日(木) 13:15~14:15	だれもが活躍できる助け合いのまちづくりについて	1 就労支援について	就労は、生きるための収入を得るばかりでなく、社会との繋がりをつくり、自己実現を図る大切な意義があります。本年の大学卒業生の就職率は98%と最高記録を更新しました。しかし、2017年、厚生労働省の「新規学卒者の離職状況」調査によると、最新の大卒3年後離職率は32.2%であり、3割が離職している状況です。また、2017年の総務省の統計によれば、家事も通学もしていない若年無業者は全国で約54万人います。ひきこもりや生活困窮者の就労支援の取り組みについて伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 雇用関係助成金の活用について	厚生労働省はキャリアアップ助成金など、雇用関係の助成金を数多く創設しています。助成金の受給は、結果として労働環境や雇用環境が改善され、就労意欲が高まります。しかし、中小企業の中には、助成金制度の内容をよく知らなかったり、申請手続きが面倒だったりして活用ができていない現実があります。助成金セミナーの開催や相談窓口の充実など、助成金の積極的な活用のための支援策を実施すべきと考えますが、ご所見を伺います。
		子どもが育つ学校 づくりについて	1 コミュニティスクールについて	南房総エリアでは最初の試みとなるコミュニティスクールが周西小学校、周西南中学校に導入されます。コミュニティスクール導入の目的、今後の展開について伺います。
			2 いじめ対策について	「君津市いじめ防止基本方針」が示されました。その中で、「いじめを許さない風土づくりを市民総がかりで進めていかなければならない」と明記されていますが、具体的にどのようなことに取り組まれるのか伺います。
			3 中学校の部活動の方向性について	中学校の部活動は、スポーツや文化を広く子ども達に体験させるとともに、社会性などよき市民として生きる力を養ってきたと高く評価しますが、勝つことのみを求める風潮や長時間の練習など、是正すべき面もあります。今回、スポーツ庁より運動部活動に関する総合的なガイドラインが示されましたが、その趣旨と本市の対応について伺います。
		安全・安心のまち づくりについて	1 神門地区の水害対策について	ゲリラ豪雨や大型台風の増加など、水害が発生する可能性が高まっています。小糸川河口の神門地区は、水害による被害が懸念される地区です。左岸は、避難所協定を結ぶことができましたが、右岸の状況について伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 地区防災計画制度について	平成25年の災害対策基本法では、地域コミュニティにおける共助による防災活動の推進の観点から、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者（地区居住者等）が行う自発的な防災活動に関する地区防災計画制度が新たに創設されました（平成26年4月1日施行）。本市の地区防災計画の進ちょく状況について伺います。
			3 災害時のドローンの活用について	昨年度、災害時のドローンの活用について協定が結ばれましたが、どのような災害に、どのような活動が予定されているのか、また、誰の指示で動き、収集された情報はどのように活用されるのか伺います。
4	13番 三浦道雄 予定日時 6月7日（木） 14：30～15：30	行財政運営について	1 市民に開かれた行財政運営について	本市の人口は確実に減少傾向にあります。都市間競争に打ち勝ち、魅力ある君津市にするためには、行財政運営は市民に開かれたものでなければなりません。君津市に移り住みたいと他都道府県のみなさんに思ってもらえるような今年度の施策について伺います。
			2 地域活性化対策について	君津市街地を含め元気なまちとはいえません。過疎化は着実に進行しております。市街地での空き家、中山間地での高齢化率の上昇、少子化に拍車をかける学校統廃合では、地域の活性化を望めません。活性化対策について伺います。
		福祉・医療行政について	1 国民健康保険の都道府県化について	国民健康保険の都道府県化に伴い国民健康保険税の引き上げ、窓口医療費の増額等サービスの低下が懸念されます。7月から今年度の国民健康保険税などの納付が開始されますが、現況について伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 社会保障制度の充実について	3月議会でも伺いましたが、安倍政権のもと、毎年のように社会保障費が減額されています。介護保険制度、生活保護制度、年金減額も同様です。これでは国民生活は悪化するばかりです。市独自の苦難軽減策はあるのか、伺います。
		教育行政について	学校再編統廃合計画について	小糸・清和地区に続き、上総・小櫃地区にも学校統廃合計画が着々と進められようとしています。しかし、松丘地区住民は「松丘に学校を残そう」と住民運動が起きています。先般、鈴木洋邦市長に3項目にわたる要望書の提出を行っておりますが、住民の切実な要望をどのように解し、検討されているのか、伺います。
		環境行政について	新井総合施設株式会社の産業廃棄物処分場問題について	産業廃棄物処分場の第3期事業計画に関し、地域住民等から「安全に関する請願書」が提出されました。ボーリング調査等の問題を含め、現況での推移と市の対応について伺います。
5	7番 石上 壘 予定日時 6月8日(金) 10:00~11:00	まちづくり実施計画について	目標人口について	1 第2次まちづくり実施計画の中において、平成30年の目標人口を8万9千人と設定していますが、目標に対しての現状と、これまでどのような具体策を講じてこられたのか、お伺いします。また、次期まちづくり実施計画にどのように反映していくのか、お伺いします。 2 より多くの人に君津市に住んでいただき、活気にあふれた地域社会をつくろうと市内に住宅を取得した方に、最大100万円の奨励金を交付した実績があります。この制度の評価についてお伺いします。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		公共施設マネジメントについて	空き公共施設の利活用について	<p>1 旧南子安職員住宅、旧南子安教職員住宅、旧外箕輪独身寮の3施設の土地・建物について、事業者との直接対話を実施して意見やアイデアをいただきました。今後の活用方法または処分の方向性は決定したのか、お伺いします。</p> <p>2 小中学校の再編による、空き校舎の利活用への取り組みは、地域の方々にとって重要であります。現在、清和地区において、公共施設ワークショップを昨年度に引き続き開催していますが、参加者の方々から出された意見を踏まえた事業展開など、今後の展望と位置づけについてお伺いします。</p>
		保育環境整備について	保育環境整備に関する基本方針について	<p>1 将来にわたり、良質な保育を安定的に提供していくとし、公立と私立が連携してそれぞれ役割を担いながら保育の実施に取り組んでいくとしています。具体的整備運営方法として、貞元地先の学校用地を活用して市が園舎を建設し、順次、民営化の対象となる保育園の園児を一時的に移しての保育の実施、その間に市が既存園舎を解体し、民間事業者が新たな園舎を建設するとしており、これらの当初案であれば、平成30年度に市が園舎を建設し、平成31年度の開園を目指すとしていました。仮園舎建設から、本園舎建設に至った経緯を今一度、お伺いします。</p> <p>2 今後も基本方針どおり、市内5園の民営化を行った後も貞元の園舎を利用していくのか、ご所見をお伺いします。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		情報発信について	デジタルサイネージの活用について	<p>1 本庁舎1階に2台のデジタルサイネージを設置して約1年が経過しました。本市の魅力や情報発信の強化に効果を発揮していることと思いますが、活用状況と効果について、お伺いします。</p> <p>2 今後、デジタルサイネージの設置個所を広げていく考えはないのか、お伺いします。</p>
		安全安心に暮らせるまちについて	1 防犯対策について	<p>4月1日から効果的な防犯活動を展開するため防犯ボックスの運用が開始されました。また、第2次君津市犯罪のない安全で安心なまちづくり計画に基づき、防犯カメラの増設や地域の自主防犯団体への支援を行うとともに、専任の防犯巡視員によるパトロールを実施していくとしています。電話de詐欺被害の防止については、広報活動や年金支給日の特別警戒など、市民の防犯意識の向上を図る取り組みを強化していただいております。自転車等の盗難や不審者に対する対策として、防犯カメラの増設や巡回パトロールの強化は、今以上に積極的に進めたいと考えていますが、見解をお伺いします。</p>
			2 防災対策について	<p>去る5月19日から20日にかけて内みのわ運動公園で実施された「君津キャンプ」では、体験型の防災訓練プログラムが実施されました。発災時の身を守る自助講座や、避難所を想定した宿泊など貴重な経験をすることができました。また、ドローンによる人命捜索訓練も行われ、災害時に貴重な役割を担ってくれることが確認できたと思います。この訓練を実施しての見解と今後の考え方についてお伺いします。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
6	10番 保坂好一 予定日時 6月8日(金) 11:15~12:15	消防防災について	1 分団再編と分団員の確保について	消防団員の減少や、勤務先からの出動などで人員確保ができずに、出動態勢が整わない分団が少なくありません。現在、分団統合の検討委員会などが行われていると思いますが、統合の意見、問題点や団員確保の進展などについて、伺います。
			2 消防団貸与の消防車両について	現在、分団貸与の車両は小型動力ポンプ付積載車の新規購入が主流となっているようですが、ポンプ車の購入も検討の余地があるとの意見もあります。分団員からの要望や実情に寄り添った考えも重要だと思いますが、見解を伺います。
			3 緊急災害対策本部設置について	現在、緊急災害対策本部を第一候補として市役所に置き、不備が生じた場合に消防本部に置くとしています。耐震の上では優れている消防本部に資機材を移動すべきと考えますが、見解を伺います。
		学校再編について	1 学校再編第1次実施プログラムについて	学校再編第1次実施プログラムが着実に推進されていますが、スクールバスや小櫃・上総地区の統合校名等、進ちょく状況について伺います。
			2 新たな学校づくりについて	小中一貫教育、コミュニティスクール(学校運営協議会)が4月から始まりました。今後、これからの「特色ある教育」をどのように展開していくつもりなのか、第2次実施プログラムの構想案も含め、見解を伺います。
		公共施設について	1 複合施設の考え方について	老朽化が進む公共施設等や統合後の学校教育施設について、今後の進め方や考え方を伺います。
			2 本庁舎の建て替えについて	本庁舎の建て替えについて、庁内での意見収集などの実施状況、また、庁舎建て替えの基本的なコンセプトはどういった方向性が必要なのか、見解を伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		ふるさと納税について	寄附目的型ふるさと納税について	総務省では問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感・賛同した方から寄附を募る仕組みを提唱しています。このような仕組みを活用する考えを持っているか、見解を伺います。
7	4番 船田兼司 予定日時 6月8日(金) 13:15~14:15	農業施策について	農地の活用について	<p>1 国が推進している農地中間管理機構を活用した農地利用集積の仕組みが開始されてから5年目を迎えますが、本市の利用集積の現状と、優良事例について伺います。</p> <p>2 農業振興地域整備計画に定める農用地区域に指定された農地は、農地以外の用途への開発行為が厳しく制限されています。しかし、やむを得ない理由により、その農地を開発しなければならない場合、農用地区域から除外することが必要と思います。本市における農振除外の現状と、今後の方針について伺います。</p>
		都市計画について	1 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の見直しについて	人口減少・少子高齢化に対応したコンパクトな都市構造への転換や、広域道路ネットワークの整備、災害に強い都市の形成等の観点から、都市計画区域の整備、開発及び保全の方針について内容の充実を図るとしてはいますが、現状と今後の方針について伺います。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 区域区分の見直しについて	<p>新たな住宅地開発を目的とした市街化区域の拡大については、原則行わず、駅周辺等における都市機能の集約化や、広域道路沿道への産業立地誘導を図る場合などに限り、計画が具体化している必要最小限の区域において、市街化区域の拡大をしております。そこで、君津インターチェンジ周辺、小糸川左岸地区の区域区分の見直しの現状と、今後の方針について伺います。</p> <p>併せて、近隣市において土地利用方針に変更があった場合における、その区域に点在する飛び地に関する区域区分の見直しについて伺います。</p>
			3 都市計画道路等の都市計画施設の見直しについて	<p>長期にわたり未整備となっている都市計画道路等の都市計画施設については、計画内容や整備の必要性などを再検証し、必要に応じて計画の見直しを進めるとしておりますが、現状と今後の方針について伺います。</p>
			4 中心市街地の活性化について	<p>今後もさらに人口減少、少子高齢化が進んでいくものと考えられ、既成市街地でも空き家の増加や空洞化が懸念されています。将来都市像の中では、成熟化と持続的な発展を目指した都市づくりを基本理念として、中心市街地での低未利用地や空き家を活用し、商業業務機能や行政サービス機能を集積した市街地形成を進めていくとしておりますが、現状と今後の方針について伺います。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		広域連携について	1 消防の広域化について	<p>県内の消防本部では、消防救急デジタル無線や指令業務が共同運用されており、業務の効率化、消防本部間での相互応援体制の強化などが図られていますが、増加する救急搬送への対応や大規模で多様化する災害等に対しては、小規模な消防本部では対応に限界があります。人員配置の効率化による現場体制の充実・高度化や、財政・組織面での消防体制の基盤強化を図り、迅速で効果的な出動による住民サービスの向上のため、消防の広域化が必要と考えますが、現状と今後の方針について伺います。</p>
			2 小児救急医療について	<p>共働き家庭の増加や核家族化により、身近な相談者がいないなどの理由から、夜間等の時間外に受診する小児患者が増加傾向にあります。現在、休日、夜間については応急的な医療が受けられるよう、君津木更津医師会の協力を得て、休日当番医及び夜間急病診療所に対応しています。さらなる小児救急医療の充実、強化に取り組むべきであると考えますが、現状と今後の方針について伺います。</p>
		学校給食共同調理場について	新調理場の運営について	<p>新調理場の建設が進んでいますが、民間委託するとした調理業務について、業者選定などの進ちょく状況について伺います。</p> <p>また、アレルギー対応食の供給を計画していると聞きますが、開始時期や規模等について伺います。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨	
8	2番 下田 剣吾 予定日時 6月8日(金) 14:30~15:30	3期12年の鈴木市長の市政運営について	3期12年の鈴木市長の成果と意思について	鈴木市長の任期満了も近づいてまいりました。3期12年の鈴木市長の市政運営の中で、最も努力し、実現したことと、様々な状況の中で実現することができなかったことを具体的に言うのであれば何でしょうか、お聞きします。	
			人口を増やしていくために	1 都心への通勤が便利なまちとして、本市を宣伝していくことについて	人口減少が続いている本市ですが、隣の木更津市では、アクアラインを使ったバス通勤を前提とした新しい人口の流入が始まっています。神奈川県や埼玉県の自治体では、その暮らしやすさのPRとして、都心までの通勤距離に着目した宣伝を行っています。満員電車とは違い、座ってゆったりとした時間を過ごせるバス通勤の良さも活かして、本市でもこうしたことに取り組むべきだと考えますが、見解をお聞きします。
				2 「営業情報」のデータベース化と活用について	貴重な税金を使って行う市の宣伝費用は限りがあります。だからこそ、情報や人脈がその成功に大きく関わるのではないのでしょうか。民間企業では名刺や人的な情報を組織として活用するのが一般的です。まずは名刺の一括管理や、さまざまな背景を持つ市の職員の人脈や趣味など、情報を可能な限り収集して、まちづくりの企画や地方創生、首都圏への宣伝に活用すべきだと思いますが、見解をお聞きします。
		3 市街地の大規模店舗について	イオン君津店のオープンに喜んでいる市民の方も多いますが、君津駅前のアピタ君津店の今後を心配する方もいます。どのような連携をしていくのかお聞きします。		

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		観光客を増やしていくために	1 民間観光施設や道の駅の状況について	<p>少しずつ民間主導の観光事業も発展している本市ですが、市の施設でないと、その情報がなかなか分からないという状況があります。市全体の観光発展のためにも、民間観光施設と連携していくことは鍵になるのではないのでしょうか。特に新しくオープンした農業企業がオープンさせた直売所とレストランの複合施設、鹿野山の直売所の状況をお聞きします。また、鴨川市の直売所は、地方創生の2億円をかけてリニューアルし、その運営は人気ブランドの「無印良品」が担うことになりました。どうしてそのようなことが可能になったのか、また、本市の亀山地区の道の駅に活かせる知見はないのか、お聞きします。</p>
			2 人気バンド「くるり」との連携について	<p>久留里地区と同名の若者に人気のバンド「くるり」の音楽フェスティバルを検討し、特に県外から人が集うイベントにしてはどうかと考えますが、見解をお聞きします。</p>
		市民の暮らしの支援としてのごみ出し支援について	高齢者などのごみ出し支援について	<p>本市も高齢化が進み、高齢世帯や1人暮らし高齢者が増え続けています。こうした中で、生活に欠かすことができないごみ出しに困る市民が増えています。その中には、近所に助けてもらえる人がいない、身寄りがないなどの理由で本当に困っている方もいます。市民はごみ袋有料化を受け入れ、リサイクルにも取り組んでいます。誰もが避けることができない高齢化により、市民の困っている状態を支援すべきと考えますが、見解をお聞きします。また、ボランティアや介護の視点から、こうしたごみ出し支援をさらに促進すべきだと考えますが、見解をお聞きします。</p>

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		君津の子どもたちを守るために	1 通学路の安全について	新潟の小学生が巻き込まれた不幸な事件に心を痛めている市民が多くいます。通学路の安全対策に注目が集まっている今こそ、準備が必要です。今年度初めて導入される通学路の防犯カメラはどのように運用していくのか、お聞きします。また、専門家によれば、夕方の下校時刻に、いかに街の中に人がいる状況を作るのが大切だと指摘しています。本市でも多くの高齢者が登下校を見守り、子どもたちを守ってくれています。本市の中で、こうした見守り活動が手薄になっている地区はどこなのか、また、そうした地区の見守りを促すために何をしていくのかお聞きします。
			2 健康のための合理的な配慮について	オゾン層の破壊が私たちの時代よりも進んだ今では、医師は日焼け止めの使用を推奨しています。しかし、学校現場の指導としては悩ましい側面もあるのではないのでしょうか。私は季節が変わりやすい時期に限定した上で、暑い日に夏服を着ることや寒い日に冬服を着ること、また、運動会に備え、日焼け止めを塗ることなど、科学的に合理的な判断は積極的に行われるべきだと考えますが、見解をお聞きします。
			3 児童、生徒による通院とそのための指導について	先日、虫歯が放置されている児童生徒の問題が明らかになりました。悲しいことですが、様々な事情で病気があっても、保護者に病院に連れて行ってもらえない児童生徒が本市にも存在します。本市は中学3年生まで医療費を無料化しています。もちろん、麻酔や安全に関わることや重い病気については一緒にできませんが、きちんとした事前の教育やルール決めがあれば、生徒自身が家の近くの病院に行き、治療を受けることもできるはずです。ぜひご検討いただきたいと考えますが、見解をお聞きします。

平成30年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			4 無料の学習支援について	<p>貧困の連鎖を断ち切るための学習教室について、3月議会で副市長は執行部の良くなかった点を認め、検討するとのことでしたが、支援を希望している小学生の受け入れに向けた状況をお聞きします。</p>
			5 小糸小学校の放課後児童クラブについて	<p>予定されている中小学校と小糸小学校が統合する小糸小学校ですが、現在の小糸小学校の放課後児童クラブの良さはどう引き継がれていくのか心配する声もあります。順調な統合のためにも、この点をどうしていくのかお聞きします。</p>
		消防職員や消防団員の負担を軽減するために	1 消防団員の長期化の現状について	<p>東日本大震災以降、災害時の役割も期待され、重要性が増す消防団ですが、かつて5、6年程度だった消防団員の任期が20年以上にわたる方もいるなど、本人や家族の負担が何倍にも増えています。これは、地域の人口減などの社会状況を制度に反映させてこなかった消防行政の責任ではないでしょうか。その現状をお聞きします。また、実際に、千葉県全体でも社会状況に合わせて、以前と比べ2割程度の定数を減らしてきたことも発表されました。広い面積の市町村も含まれ、「市域が広いから大人数が必要」という従来の理由だけでは説明できません。近隣市も同様に400人から600人程度に減らしてきました。しかしながら、本市だけが900人と多い現状です。なぜなのか、併せてお聞きします。</p>
			2 消防職員や団員の職務に使用する備品や消耗品の自主購入について	<p>本来は消防本部が負担すべき職務に使う消耗品や道具を、予算不足を理由に数百万円、個人購入させていた問題を以前指摘し、改善したはずでした。しかし、まだまだ、「自腹購入がある」との声もお聞きします。実態についてお聞きします。</p>